

本校の進路便りのタイトルである「E x p e c t」とは、広く「予期する」意を表す言葉だが、進路便りに用いるくらいであるから、やはり「期待する」という意に解すべきだろう。では、「何を」期待するのか？

当たり前じゃない、「進路希望の実現」でしょ？本当にそうだろうか。「進路希望の実現」ってどういうことなのか、改めて考えてみると、ちょっと難しい。

えっ？そんなことないでしょ。だって、「進路希望の実現」→「希望の進路に進むこと」→「例えば大学進学希望者が、希望大学に入学すること」に決まってる。本当にそう？

ここで考えておきたいことは、次の二つだ。

一つは、君の進路は、たかだか18歳や19歳で希望の大学に入学した時点で、「実現」してしまうくらい簡単なものではないということだ。「進路」とは「進んで行く道」であり、「将来進むべき方向」であり、言わば「人生」そのものである。高校卒業直後の進路は、その先に何十年も続く人生から見れば、最も近い将来にある分岐点の一つに過ぎない。その分岐点を希望通りの方向に進めるかどうかは確かに大切なことだが、それで君の人生が安泰だという保証はどこにもない。

もう一つは、「進路希望は、勉強することの目標にはなるが、目的にはならない。」ということだ。「勉強する」こと「学ぶ」ことは、即ち「成長する」ことである。そして「成長する」ことの「目的」は、例えば君自身が自分の人生を豊かにすることである。そのために自分なりの「目標」を決めて、そこに到達することを目指す。その「目標」となり得るのが、高校卒業直後の進路だが、それが実現しても「目的」を達成したことにはならない。それは通過点に過ぎないからだ。

さて、元の命題に戻ろう。何を「E x p e c t =期待する」のか。

それは、君たちが成長することであり、高校卒業後も成長し続けることであり、そしてその結果、君たち自身が自分の人生を豊かにすることである。私たち教職員は、そのために君たちを教え、諭し、叱り、励まし、助けている。今も、そしてこれからも、君たちが成長し続けていけるよう「期待」して、私たちは君たちを全力で支援していく。